

学部・学科	現代教育学科教授
氏名	奥田 俊詞／おくだ しゅんじ
研究業績	・電磁石を用いたゲームなどの学習教材、顕微鏡の透過画像による生命の尊重につながるメダカの卵の観察など、小学校理科教材の開発 ・親子で参加する科学イベントによる共感性を活用した体験的学習の実践 ・理科教育における問題解決学習の意味を理解するための教員養成授業の方法開発 ・モバイルプラネタリウムを活用した地域における天体学習の実践
主な著書	「移行期 1 年目の理科指導法 理科離れをなくす新単元の授業実践」『小五教育技術』（小学館） 「子どもたちの信頼と自信を育てる 五年生いきいき学級経営」（小学館）
主な論文	「生徒が主体的に取り組む授業展開」奈良県立教育研究所『研究紀要第 12 号』2005 年 「メタ認知の視点から見たキャリア教育」奈良県立教育研究所『研究紀要第 14 号』2007 年 「キャリア教育の視点から見た物理教育」奈良県立教育研究所『研究紀要第 15 号』2008 年 「サイエンスコミュニケーションの視点からみた畿央大学における知己貢献活動」畿央大学『畿央大学紀要』2016 年 「カリキュラム・マネジメントによる小中連携の試み—中学生が小学生にプログラミングを教える実践—」畿央大学『畿央大学紀要』2019 年 「大学との連携を通じた社会教育講座の展開に関する検討—モバイルプラネタリウムを活用した体験的天体学習プログラムの実践—」畿央大学『畿央大学紀要』2022 年
学会発表	「電磁石のしくみを探る導入教材の研究—ソレノイドの原理を活用した教材開発」日本理科教育学会 2010 年 「小学校理科電磁気分野の学習を進める上での課題」日本物理教育学会 2011 年 「小学校のクラブ活動を活用した、大学による科学教育支援」日本科学教育学会 2012 年 「ロボット教材を活用した速さに関わる算数的活動」日本科学教育学会 2017 年
社会活動	初任者研修などの教員研修の講演や学校現場における授業研究の指導など教員に向けて支援活動とともに、小学校における出前授業や科学クラブ指導の実施など、教育現場での支援活動に積極的に取り組んでいる。また、公民館などの社会教育活動で行われるイベントにおいて、科学実験やプログラムロボットの体験授業などを提供してサイエンスコミュニケーション活動の一環として取り組んでいる。

2022 年 6 月 30 日